

【草花の部屋】

ベロニカ・アウストリアカ（オオバコ科クワガタソウ属
VERONICA AUSTRIACA）

和名：ベロニカ・アウストリアカ **別名**：オーストリアン・スピードウェル

英名：Large speedwell

シソ目 多年草 **原産地**：ヨーロッパ

花言葉：忠実、名誉 **花色**：青、紫



←写真-1、2 ベロニカ・アウストリアカ
撮影日：2016年6月3日
撮影場所：モネの家
(ジヴェルニー・フランス)にて
撮影者：M さん



←写真-3 ベロニカ・アウストリアカの葉
撮影日：2016年6月3日
撮影場所：モネの家
(ジヴェルニー・フランス)にて
撮影者：M さん

もともとはヨーロッパ中東部に分布していたそうですが、今ではヨーロッパから東アジアにかけて温暖な気候の土地に分布していることが知られているそうです。平地の草原や灌木帯などで見られ、うまく立ち上がらせると 60cm 以上になるそうですが、普通は地面を這って、あるところから立ち上がるので高さは 30～45cm だそうです。

花は 5 月～ 6 月に 30 cm ほどの花茎を立て、小さな蕾のついた総状花序をつけます。小さな蕾の時から想像できないくらい大きい、直径 1 センチほどの美しい青色の花を開きます。

葉には葉柄がなく、茎を抱くように対生してついています。葉は広卵形から狭披針形、または羽状に分裂し、縁には鋸歯があります。

ベロニカ・アウストリアカは良く排水された土壌で繁栄し、完全日照から半日陰までの環境が必要だそうです。また、土壌を過水状態にしないように適度な水を与えることが重要だそうです。弾力性に優れ、さまざまな条件に適応する能力があり、比較的手入れが簡単な植物だそうです。花を促すために枯れた部分を取り除くことや、葉に引き寄せられるカタツムリから保護することなど、特別な注意点があるそうです。

<ちょっと一言>

- ・クワガタソウ属(veronica)は、以前はゴマノハグサ科とされていました。
- ・葉に変異が出やすく、形は広卵形から狭披針形をしており、葉縁は羽状に裂けたり、粗い鋸歯があつたり、全縁であつたりと変異が報告されているそうです。葉の特徴からベロニカ・アウストリアカ・テウクリウム (Veronica austriaca supsp. teucrium) やベロニカ・テウクリウム (Veronica teucrium) といった異学名で呼ばれることがあるそうです。
- ・同じベロニカ属でも品種により花姿は異なり、気品のある青い花穂がすっと伸びる「ロイヤルキャンドル」は人気種だそうです。